

前高特ガイド NO.4

～受検を考えている生徒さんと保護者、先生方へ～



前橋高等特別支援学校の「教育課程」②

本校の教育課程について、「高等学校との違い」という視点で解説していきます。

①社会に出てから役立つ授業内容！

本校は教育課程修了の判断に、「試験での点数」や「取得単位数」という基準はありません。つまり、高等学校のように、「授業に〇〇回以上出席した上で、定期試験で〇〇点以上取得」というような基準がないということです。では、勉強は「なし」ってこと？いえいえ、そうではありません。国語や数学、情報などは、**将来社会に出てから直接役に立つ内容**を中心に学習します。最近の情報化社会に対応し、授業ではタブレット端末を使った学習を積極的に進めています。



②いろいろな経験を通じて、仲間作りができます！

本校生徒の出身学校は、近年では中学校の特別支援学級出身者が8割以上です。**興味や趣味、会話のテンポが合い**、「初めて親友と呼べる友達ができた！」と喜んでいる生徒も多くいます。また、部活動では他学年や他の科の生徒との出会いもあります。時にはけんかもあるけれど、お互い励まし合いながら楽しい学校生活を送っています。



③就職を目指す場合は

「障害者雇用制度による採用枠」での就職を目指します！

本校の進路指導は、「療育手帳」を利用した「障害者雇用」や「福祉就労」、「就労移行」が中心です。就職における障害者雇用は一般雇用とは別枠になり、一定の条件を満たした企業等には法律で定められた雇用率が課せられています。現在は2.3%ですが、令和8年度の7月からは2.7%に引き上げられる予定です。

特別支援学校では、障害者雇用を前提として、**採用希望のある企業と早期から連携（情報交換）しながら進路指導を進める**ことができます。



進路先として、高校か？特別支援学校か？で悩むケースが多いです。上記①②③を踏まえ、**特別支援学校のメリット**を挙げたいと思います。



- 障害特性に合わせた内容、進度で学習ができる。
- 支援体制（教育、医療、福祉、労働）が整っており、多面的に支援が受けられる。
- 「障害があること」を前提とした進路指導を実践しており、将来の社会参画に向けた具体的で実践的な教育を受けながら、本人の特性に合った進路先が見つかりやすい。

